

研究タイトル：

インド洋海域の歴史

氏名： 藍澤 光晴 /AIZAWA Mitsuharu

E-mail: aizawa@kurume-nct.ac.jp

職名： 准教授

学位： 博士（経済学）

所属学会・協会： 日本アフリカ学会、日本移民学会、歴史学研究会、国際開発学会

キーワード： マダガスカル, シーア派, インド洋, アフリカ

技術相談

提供可能技術：



研究内容： インド洋海域の歴史

インド洋海域の解明を目指しています。そのためにマダガスカルでフィールドワークに従事しています。とりわけグジャラート出身のインド系マダガスカル人（イスラム教シーア派）の移動と経済活動を調査しています。

歴史学において従来の一国史観の限界が語られるようになって久しい。とくに近年グローバル・ヒストリーによる研究が潮流となりつつある。その流れは、「近代世界システム」論を提唱したイマニュエル・ウォーラーステインの研究に始まった。具体的には、近代世界システム論とは、北西ヨーロッパ諸地域で始まった資本主義的経済システムがアジアやアフリカ地域を飲み込みながら膨張し、資本主義的「世界経済」へと志向するものであったという。しかし、インド系マダガスカル人の経済活動の変遷を中心に環インド洋海域を見ると、近代世界システム論にみられる二項対立的な分析枠組みは再考されなければならないことが理解できる。近代世界システム論において、環インド洋海域は、ヨーロッパ近代の「周縁」として記述され、「中枢と周縁」という二項対立的な歴史像を主題とする研究対象として取り上げられることが多かった。そこで、従来「周縁」と見なされていた環インド洋文明圏に光をあて、「周縁」の複雑な構造をより正確に描写することを目指しています。また文献中心の歴史学研究にフィールドワークを積極的に取り入れ、歴史学の新たな可能性も模索したい。

提供可能な設備・機器：

名称・型番（メーカー）